

自社図面枠を作成・利用する方法【図面マネージャ】

文書管理番号：1181-02

Q. 質問

図面マネージャで自社の図面枠を作成したい。
図面マネージャで自社の図面枠を利用したい。

A. 回答

図面マネージャでは、図書データ（zkm データ）ごとや図面ごとに、使用する図面枠を選択できます。
また、図面マネージャの図面枠作成で、図面枠の作成も可能です。
ここでは、下図のような図面枠の作成方法と、作成した図面枠を利用する方法を説明します。



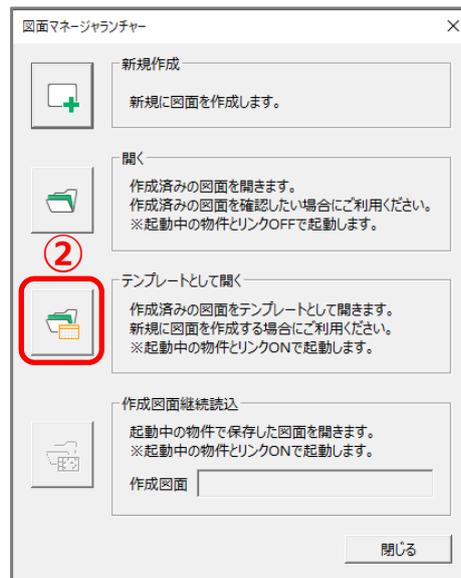
操作の流れ

- ① 図面枠作成画面の起動
- ② 図面枠の作成・保存
- ③ 図面マネージャで図面枠の変更

操作手順①：図面枠作成の起動

- ① ≡ (クイックメニュー)またはメインメニューから (図面マネージャ)をクリック

* 図面マネージャと図面マネージャランチャーの画面が表示されます。



- ② 図面マネージャランチャーから (テンプレートとして開く)をクリック

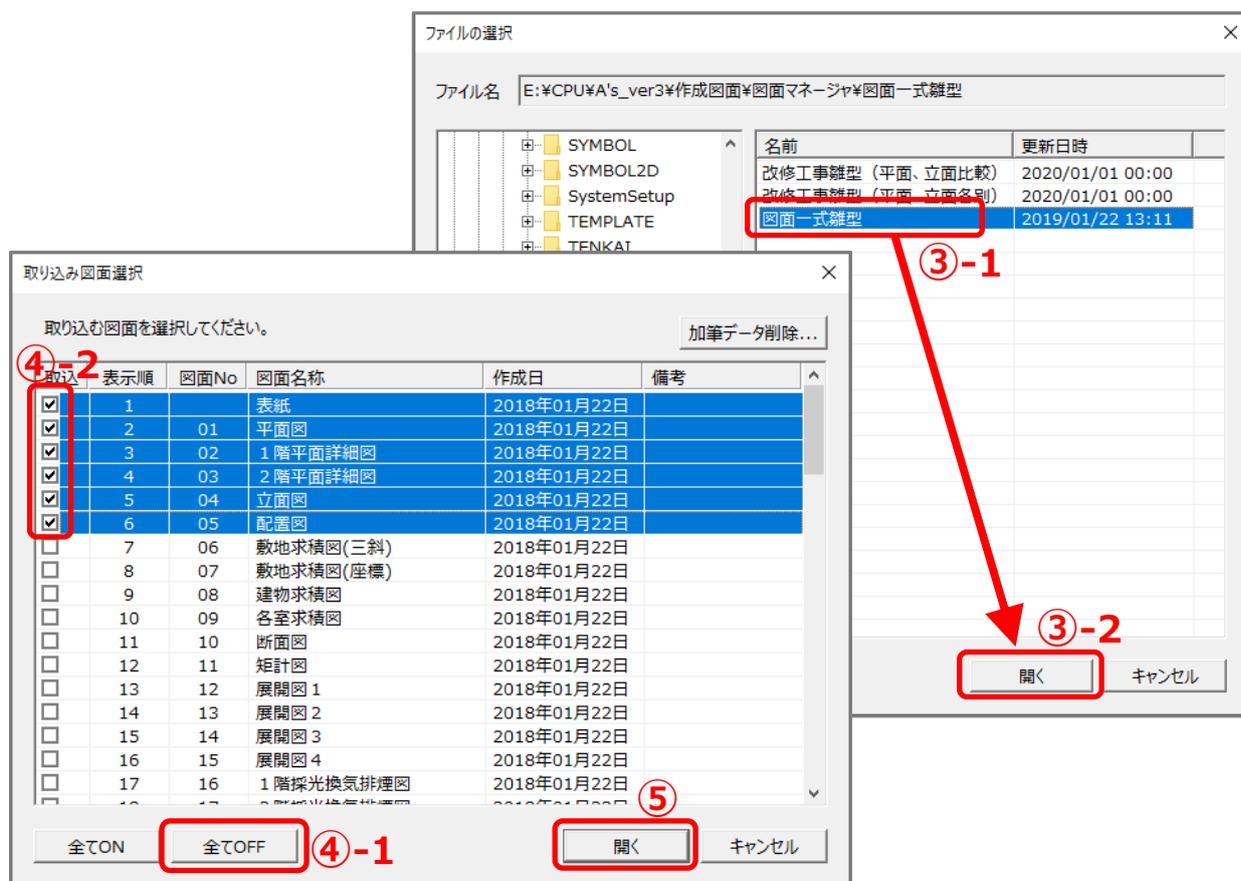
* ファイルの選択の画面が表示されます。

- ③ 「図面一式雛型」をクリックし「開く」をクリック

* 取り込み図面選択の画面が表示されます。

- ④ 使用する図面にチェックをつける

* ここでは「全て OFF」をクリックし、すべてのチェックボックスのチェックを外した後、「表紙」「平面図」「1 階平面詳細図」「2 階平面詳細図」「立面図」「配置図」にチェックをつけます。

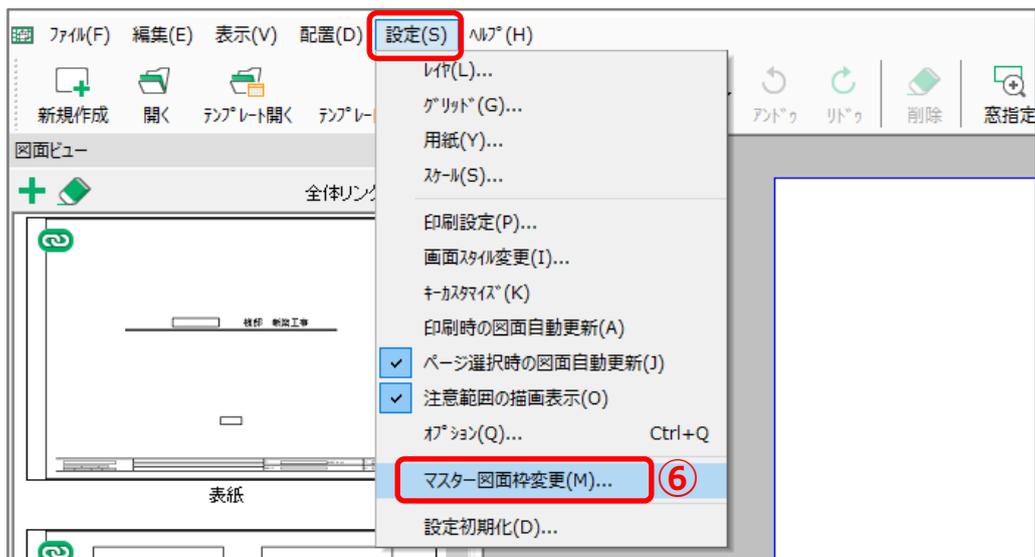


- ⑤ 「開く」をクリック

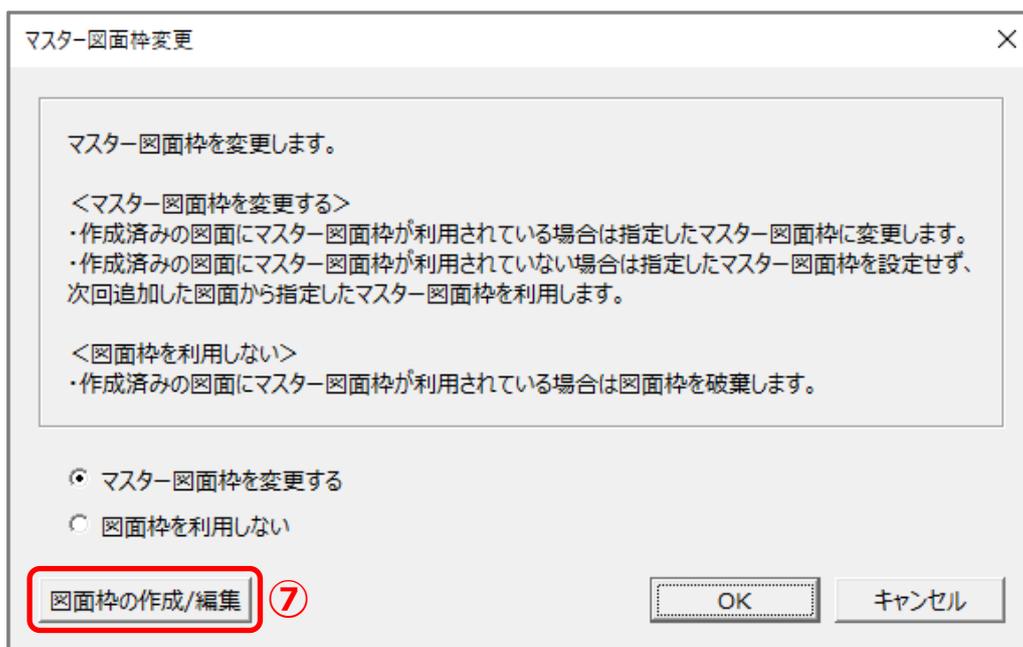
* 図面マネージャに、操作④でチェックした図面が読み込まれます。

⑥ 「設定」⇒「マスター図面枠変更」をクリック

* マスター図面枠変更の画面が表示されます。



⑦ 「図面枠の作成/編集」をクリック



* 図面枠作成が起動します。

* オブジェクトモードに関するメッセージが表示された場合は、内容を確認後、「閉じる」をクリックしてください。

【参考】

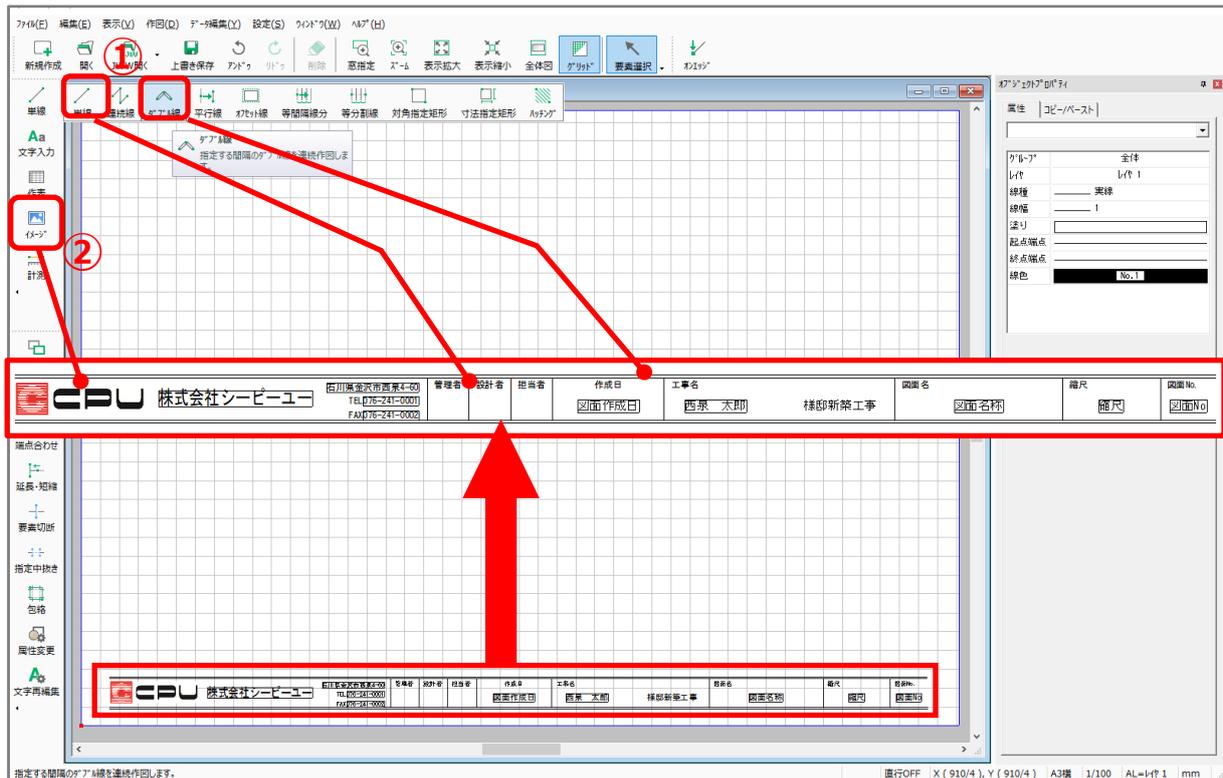
図面枠作成は、図面枠のデータを作成、または図面枠に使用するファイルを読み込み編集する機能です。図面編集の機能のうち、図面枠を作成するために必要な機能に限定し、表や文字のリンクが利用できるようになっています。

操作手順②：図面枠の作成・保存

図面枠作成の基本的な操作方法は、 (図面編集)と同様です。
 詳しくはA's (エース) のマニュアル「図面編集編」をご覧ください。

① 図面枠の枠線を入力

* ここでは縦線を (単線)で入力し、横線を (ダブル線)で入力します。



② (イメージ)をクリックし、会社のロゴ画像を挿入

* イメージのアイコンが表示されていない場合は、「◀」をクリックし、隠れているアイコンを表示させ、 (イメージ)をクリックしてください。

③ 文字を入力

- * 文字の入力方法には **Aa** (文字入力) と **Aa** (文字リンク) の 2 種類あり、入力する文字によって使い分けます。

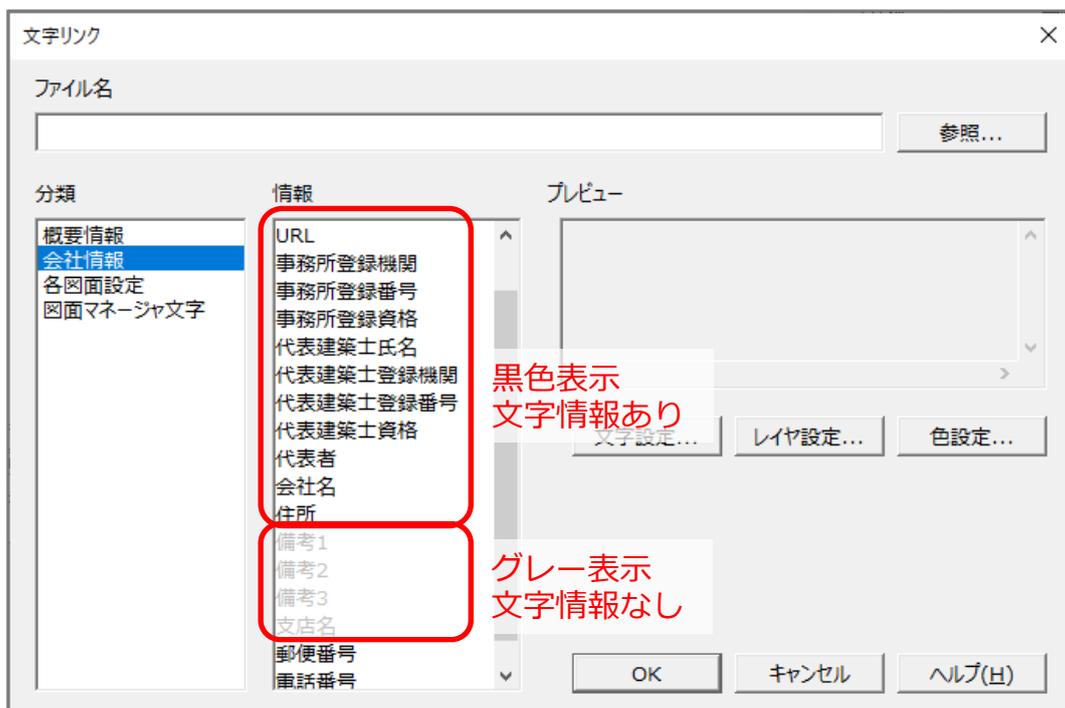
- 文字入力

「TEL」や「FAX」、「管理者」や「設計者」など、図面やプランによって変更する必要のない固定の文字列を入力する場合に使用します。

ここでは、「TEL」「FAX」「管理者」「設計者」「担当者」「作成日」「工事名」「様邸新築工事」「図面名」「縮尺」「図面 No」の文字列を、**Aa** (文字入力) で入力します。

- 文字リンク

「図面名」や「縮尺」など、図面によって変わる文字情報や「施主名」、「設計担当者」など、物件概要で入力し、プランによって変わる文字情報を入力する場合に使用します。



既に内容が入っている文字情報は黒色で、内容が入っていない文字情報はグレーで表示されますが、グレー表示されている文字情報も入力が可能です。

ここでは「会社名」「会社の住所」「電話番号」「FAX 番号」「図面作成日」「施主名」「図面名称」

「縮尺」「図面 No」を、**Aa** (文字リンク) で入力します。

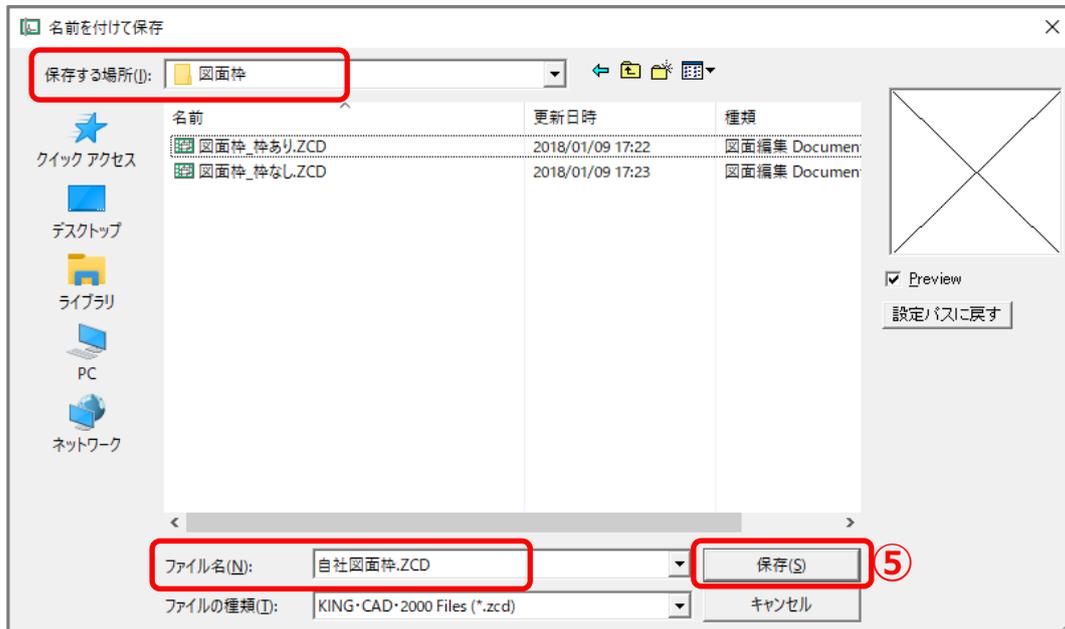
文字リンクで入力した文字情報には、四角い枠が付きます。

④ 図面枠が完成したら、「ファイル」⇒「名前を付けて保存」をクリック

- * 名前を付けて保存の画面が表示されます。

⑤ 保存する場所、ファイル名を設定し「保存」をクリック

- * ここでは、保存する場所を初期設定場所の図面枠フォルダー（インストール先のドライブの「¥CPU¥A's¥TEMPLATE¥図面枠」フォルダー）に設定し、ファイル名は「自社図面枠」とします。



⑥ 「ファイル」⇒「終了」をクリック

- * 図面枠作成が閉じ、図面マネージャのマスター図面枠変更の画面に戻ります。

【参考】

図面枠作成に既存の図面データを読み込み、図面マネージャ用の図面枠に編集して使用することも可能です。

 (開く)または「ファイル」⇒「開く」から図面データを読み込み、編集してください。

また、JWW ファイルや DXF ファイルも、 (JWW 開く)  (DXF 開く)から読み込み、使用することができます。

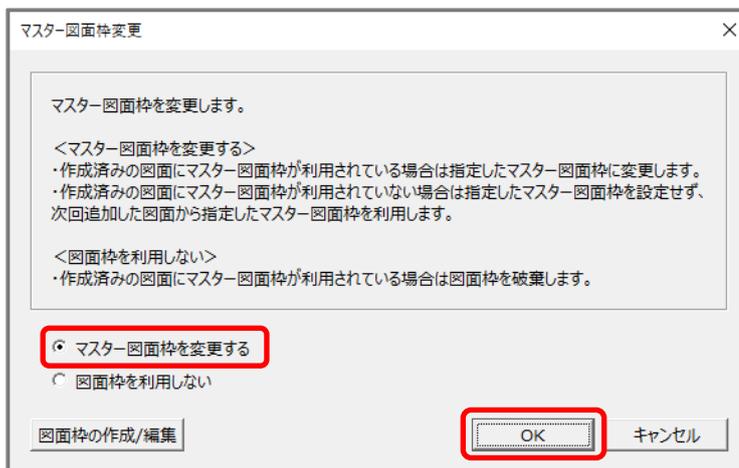
操作手順③：図面枠の変更

マスター図面枠変更から変更します。

図面枠作成を閉じると、図面マネージャのマスター図面枠変更の画面が表示されますが、マスター図面枠変更の画面を閉じた場合は、「設定」⇒「マスター図面枠変更」をクリックし、表示させます。

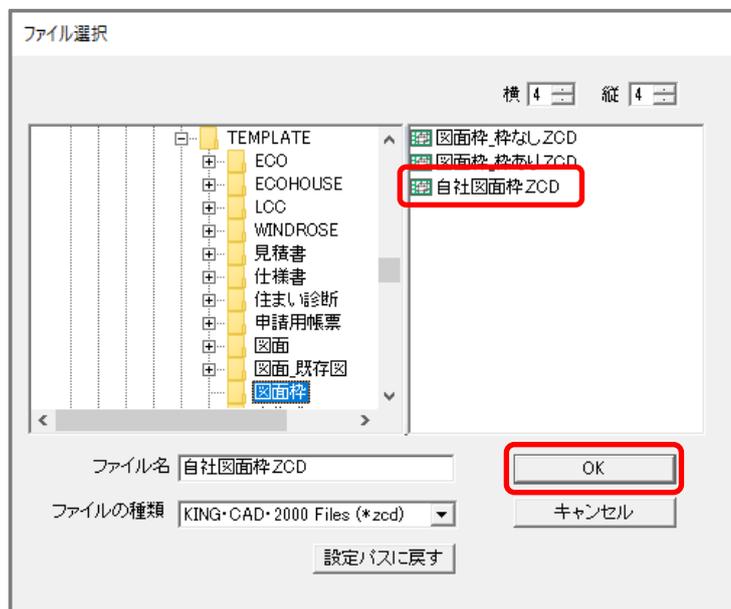
① 「マスター図面枠を変更する」をクリックし「OK」をクリック

- * ファイル選択の画面が表示されます。



② 使用する図面枠を選択し「OK」をクリック

- * ここでは P.4～6「操作手順②：図面枠の作成・保存」で作成した「自社図面枠」を選択します。
- * ファイル選択の画面が閉じ、各図面の図面枠の変更処理が行われます。
- * 変更処理が終わると、作図領域の図面表示が消えグレーの画面になります。図面ビューから図面を選択し、図面枠が反映していることを確認してください。



【参考】

図面枠を変更し、 (保存)から図書データとして保存することで、テンプレートとして使用できます。テンプレートとして開いた時に、選択した図面データが利用している図面枠が表示されるため、図面枠を変更する手間が省けます。